

発行日 ● 平成22年1月

発行者 ● JA岐阜厚生連 中濃厚生病院 広報委員会

中濃厚生病院だより

No 61



### 中濃厚生病院の理念

みんなの安心、みんなの信頼、みんなの希望

みんなの安心、みんなの信頼、みんなの希望
私たちは「安心」「信頼」「希望」のある医療をめざします。
- 患者さんに「安心」を
いかなるときも差別をなくし、人権とブライバシーを尊重します。
十分な説明と納得のいく医療サービスを心がけます。
快適な環境をととのえ、こころを尽くしてお世話します。
- 地域社会に「信頼」を

さまざまな機関との連携をすすめ、開かれた病院をめざします。 救急・予防・リハビリテーションまで地域に必要な医療を提供します。 常に新しい知識と技術の集積につとめ、高度医療に取り組みます。

- あしたに「希望」を -

医療と福祉の実践をとおして生きがいにみちた生活を支援します。 利用者と職員の希望をはぐくむ職場づくりをすすめます。 和を大切にし一丸となって地域医療の発展に努めます。

特集:心エコー(心臓超音波検査)について



JA岐阜厚生連 中濃厚生病院

# 年頭のご挨拶



JA岐阜厚生連 経営管理委員会会長 上 松 忍

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申 し上げます。

旧年中は、本会事業に格別のご高配を賜り衷心より厚くお礼申し 上げます。

平成22年の年頭にあたり皆様に一言ご挨拶を申し上げます。

昨年4月にメキシコで端を発した新型インフルエンザは、WHO (世界保健機構)により「世界的大流行 (パンデミック)」が宣言され、わが国においても感染者が増加の一途を辿り行政機関並びに医療機関では診療・予防接種等の対応に追われている状況にあります。また、一昨年からの金融危機による景気低迷が続くなか日本経済もいまだ先行きが不透明な状況下にあります。

こうしたなか、昨年の衆議院選挙により「医療崩壊を食い止め国 民に質の高い医療サービスを提供する」を掲げた民主党を中心とし た新政権が発足し、これまでの政策方針も大きく変化し医療現場で は明るい兆しが見え始めると考えられていましたが、長引く景気低 迷を背景とした税収の悪化から行財政を取り巻く環境も一段と厳し さを増し、国の事業仕分け作業においても厳しい評価がなされるな ど、平成22年4月の診療報酬改定や医療関連の予算にも少なから ず影響するものと想定され、本会の事業運営も引き続き厳しい環境 下におかれると考えられます。

このように医療を取り巻く環境が日々刻々と変化していくなか、病院運営はこれら困難な状況に対応していくことが求められます。本会としては安全で良質な医療を提供していくため施設・設備の整備をはじめ医療従事者の確保と資質向上を引き続き行うことにより、地域医療への貢献を推し進め、併せてコンプライアンス態勢等内部統制の強化に努め、皆様に信頼され求められる病院づくりに取り組んでいく所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまし<mark>て幸多き年となり</mark>ますよう心より祈念いたしますとともに、本年に<mark>おきましても引き</mark>続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十二年 元旦

# 年頭のご挨拶



院長田 中 孜

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は本院事業に格別のご支援、ご協力賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年は「政権交代」と「新型インフルエンザ」に揺れ、その影響 は新年以降もしばらく続くものと思われます。

また東海地震の今後30年間に発生する確率は87%と云われています。その対応のため本院も昨年3月に災害医療派遣チーム (DM AT) を編成しました。DMATは災害 (超) 急性期に活動できる機動性を持った災害医療に対する専門的なトレーニングを受けた医療チームで、医師1名以上、看護師1名以上、ロジスチック1名以上の5名で構成されます。幸い編成後出動の機会はありませんが、今後は更に2~3チームを編成し緊急時に備えたいと考えています。

また昨年11月には地元めぐみの農協のご尽力により病院北側の 土地7,056㎡を取得することができ、本年3月には駐車場として利 用予定です。これにより外来駐車場の混雑が緩和されるものと思われます。

本年8月には、本院新築移転、救命救急センター併設10周年を迎えます。救命救急センター設立後、毎年厚労省からの評価は3段階で最も高い「A評価」を受けています。しかしながら小児救急医療など多くの問題を抱えています。本年も診療体制の整備と共に近隣の病院、診療所などと密接に連携をとり、救急医療の充実を図ってまいります。

国の経済状況の厳しい中、医療の先行き不安は続きますが、本院は引き続き医療並びに環境整備を進めることにより、地域住民の皆様方に納得して頂ける病院運営を目指し、職員一同努力いたします。本年もご指導、ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げて新年のご挨拶とさせて頂きます。 平成二十二年 元旦

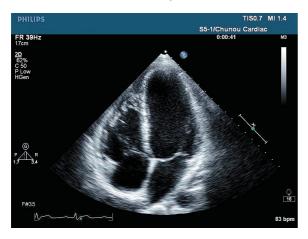
# 心エコー(心臓超音波検査)について

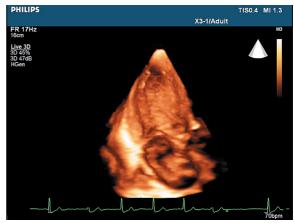
超音波検査とは、超音波という人の耳には聞こえないほどの非常に高い周波数の音を利用して、観察したい体の部位に当て、反射してきた音を画像に変換表示して診断する検査です。心エコー検査(心臓超音波検査)は、これを利用し、動いている心臓の状態をリアルタイムに観察します。超音波自体は、体に非侵襲的なものなので、安心して痛みもなく、繰り返し検査が行えます。

ご存知のとおり、心臓は全身に血液を送り出すポンプの役目をする臓器です。左右にある心房・心室という4つの部屋と逆流を防ぐ役目をする4つの弁から成っています。心エコー検査では、これらの部屋の大きさ・動き・心臓の筋肉や弁の状態・血液の流れなどを観察し、ポンプが正常に働いているかどうかを判断します。

心エコー検査は、胸部不快感や胸痛・動悸・呼吸苦・めまいなどを主訴に 受診された心臓疾患が原因と思われる患者さんに対して行われます。また、 無症状でも、人間ドックや健診を受けられた際に、心電図や胸部レントゲン・ 聴診等で異常が発見・指摘された場合に精査目的で行われることもあります。 その他、手術前検査の心機能評価の一つとして行う場合もあります。

さらに、突然の激しい胸痛発作を主訴に救急搬送され、心電図から狭心症 や急性心筋梗塞などの虚血性心疾患が疑われ、一刻を争う処置を必要とする 緊急時においても行われます。心臓の動きが即時に診断できることから、心 エコー検査は非常に有用であり、循環器疾患においては必要不可欠な検査の 一つとなっています。





当院では、検査診断装置として最新機能を搭載した装置(フィリプスiE33)を県内では最初に導入しました。検査総数は、1年間で2,500件をこえる検査を施行しています。本装置は超音波を送受信する部分(プローブ)が、単結晶という新しく開発された素材に代わり、心臓の内膜境界面の描出力が格段に上がるなど、高感度・高精細の検査結果が得られるようになりました。また、リアルタイムでの三次元エコーも可能で、より有益な検査として進歩してき



ています。なお、心エコー検査は、検者の技術・知識が検査の質を大きく左右しますので、常に学習や研修を心がけ、質の向上・維持にも努めています。

実際の検査では、受診者の方には胸を出していただき、ベッドに左横向きに寝ていただきます。また、手足首には心電図用電極をつけます。そして胸にプローブをあてると心臓の画像がリアルタイムに映し出されます。この際、鮮明な画像が得られるよう、プローブと皮膚の間にゼリーを塗りますが、このゼリーは体の害になるようなものではありません。

検査にかかる時間は病気の種類や受診される方の状態によって異なりますが、15~30分程度です。検査には、基本的に食事の制限はありません。

以上、簡単に心エコー検査について紹介させていただきました。

検査科 重山 麻希

### ●●● 助産師・看護師募集 ●●●

応募資格:22年3月、保健師・助産師・看護師学校等を

卒業見込みの者、既卒者(有資格者)

応募手続:次の書類を提出して下さい。

(1)履歴書(市販の物で写真

<上半身3.5cm×4cm、3ヶ月以内のもの>貼付のこと)

- (2)免許証の写し
- (3)卒業見込証明書
- (4)学業成績証明書
- (5)健康診断書 ※既卒者(有資格者)は(3)(4)は不要

書類提出先:〒501-3802 岐阜県関市若草通5丁目1番地 問合せ先:総務課または看護部長室まで(郵送・持参可)

試験内容:(1)面接 (2)小論文